

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年4月号)

2023年4月25日



2023年度 マンスリーレポートの配信にむけて

観光市場の激変に向き合う為に

日頃から、神戸観光局の活動に格別なご高配を賜り誠にありがとうございます。

これまで、神戸観光に関連する各種観光データを毎月「マンスリーレポート」として会員の皆様へ配信して参りました。

観光施策や事業設計は、これまでの経験則や勘だけでなく、客観的なマーケティングデータを元に計画・実行・検証・効果測定されることが大切であると考え、神戸観光局（DMO）として継続的なデータ収集と、関係者への情報発信に努めて参りました。

今年は、これまでの「情報収集・定期的な情報発信」を通じて蓄積してきたノウハウを活かしつつ、より「わかり易い解説」「数字から推測される分析」にも挑戦したいと考えております。マーケティングチームにとっても、大いなるチャレンジとなりますので、皆様におかれましても、暖かく見守って頂けると幸いです。

皆様と共に、今後予想される観光市場の大きな変化と成長に向き合えれば幸いです。今後とも、引き続きよろしく願いいたします。

神戸観光局 マーケティングチーム一同

1. 今月のトピックス	
今月のトピックス	P.3~4
今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング	P.5~7
2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～	
・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市、大阪市、京都市）[推計値]	P.9~12
・ホテル平均稼働率	P.13
3. インバウンドに関する情報	
・2023年月別訪日外客数及び各国・地域別の状況	P.15~16
・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～台湾～	P.17
4. 交通機関に関する情報	
・関西国際空港・神戸空港の利用状況	P.19
・関空国際線就航状況・入国状況	P.20
・クルーズ船寄港状況	P.21
5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～	
・神戸公式観光サイト FeelKOBE（日本語）動向	P.23
・市内観光案内所 国内観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況	P.24~26
・主要市内観光施設来場者数	P.27
・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館）	P.28
・神戸市内大型施設の主な催事情報（5~6月）	P.29
● 参考資料集	P.31~

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



■ 観光立国推進基本計画が閣議決定（令和5年3月31日）

観光庁が、2023年から2025年までの「観光立国推進基本計画」を改訂。

「**持続可能な観光地域づくり**」「**インバウンド回復**」「**国内交流拡大**」を基本的な方針とし、早期達成を目指す目標として以下の様に設定した。

着目すべきは

- ・ **インバウンド消費額 5兆円**
- ・ **国内旅行消費 20兆円**

と今までより「観光による経済効果」＝「消費額」を目標として明示した事。

特に訪日外国人旅行消費額単価を、15万円→20万円/人とした事は今回の計画の一つのトピックとなっている。これらの目標設定に連動した「高付加価値化」や「国内需要喚起」「国内旅行需要の標準化」などのキーワードを勘案した企画が、今後の神戸観光にも求められる。

注目度が高いインバウンド市場への積極的な取り組みを実施しつつ、それだけに偏らずに、足元を固める国内旅行消費への取り組みにも注力する事が重要だと観光庁の計画からも読み取れる。

これらの観光庁の方針も捉えつつ、神戸観光の施策を検討していく事が大切と考えている。

観光庁 観光立国推進基本計画（2023.3.31）

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/kankorikkoku/kihonkeikaku.html>

目 標			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 早期達成を目指す目標：インバウンド消費5兆円、国内旅行消費20兆円 ■ 2025年目標（質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定） 			
持続可能な観光地域づくり	地域づくりの体制整備	① 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数【新】	100地域
	インバウンド回復	② 訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人
		③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数【新】	2泊
		④ 訪日外国人旅行者数	2019年水準超え
		⑤ 日本人の海外旅行者数	2019年水準超え
	国内交流拡大	⑥ 国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上
		⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊
		⑧ 国内旅行消費額	22兆円
主な施策			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光地・観光産業の再生・高付加価値化 ■ 観光DX、観光人材の育成・確保 ■ 持続可能な観光地域づくりのための体制整備等 			
<ul style="list-style-type: none"> ■ コンテンツ整備、受入環境整備 ■ 高付加価値なインバウンドの誘致 ■ アウトバウンド・国際相互交流の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内需要喚起 ■ ワークーション、第2のふるさとづくり ■ 国内旅行需要の標準化 	

■ 4月5日～ 中国を対象とした新型コロナウイルス感染症に関する水際対策が緩和

- ・政府は、中国からの入国者について、他国からの入国者同様、「ワクチンの接種証明書（3回）」の提出があれば、「出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書」の提出を求めない事を発表。
- ・「ゼロコロナ政策」転換後、コロナ陽性者が急増したため、水際対策を強化していたが、国内外の感染状況などを踏まえ、今回の緩和に踏み切った。
- ・今後の訪日外国人の入国者数の変化に注目をしていきたい。
 - ☞外務省の感染症危険情報については、外務省海外安全ホームページをご確認ください。
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

■ JAL、夏ダイヤで中国本土路線を大幅増

- ・JALは3月8日、日中両政府によるさらなる水際緩和措置を受けて、2023年度夏ダイヤ（3月26日～10月28日）で調整中としていた、中国本土路線の運航計画を発表。
- ・羽田～上海（浦東）線は1日2往復に、羽田～上海（虹橋）線を3年ぶり再開
- ・羽田～上海（浦東）線は夏ダイヤ期初は1日1往復で運航し、7月からは浦東線で2便目となる新期運航便を設定し1日2往復で運航。
- ・さらに羽田～上海（虹橋）線を3年ぶりに再開して夏ダイヤ期初から1日1往復で運航し、羽田～上海線はあわせて毎日3便を運航することとなる。
- ・また日曜のみ週1便で運航している東京～北京間は、東京発は羽田、東京行きが成田で運航しているところ、夏ダイヤ期初からは羽田発着に統一され、1日2往復で運航（※一部便は成田着）。

・運休中の関空～上海（浦東）線

首都圏以外を発着する路線として、5月8日から関空～上海（浦東）線が週3往復で再開される。

出展：訪日ラボより抜粋

[JAL、中国路線を大幅増 23年夏ダイヤから | 訪日ラボ \(honichi.com\)](#)

☞詳しくは、JALプレスリリースをご確認ください。

[2023年度夏期 国際線路線便数計画を追加決定 | プレスリリース | JAL企業サイト](#)

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

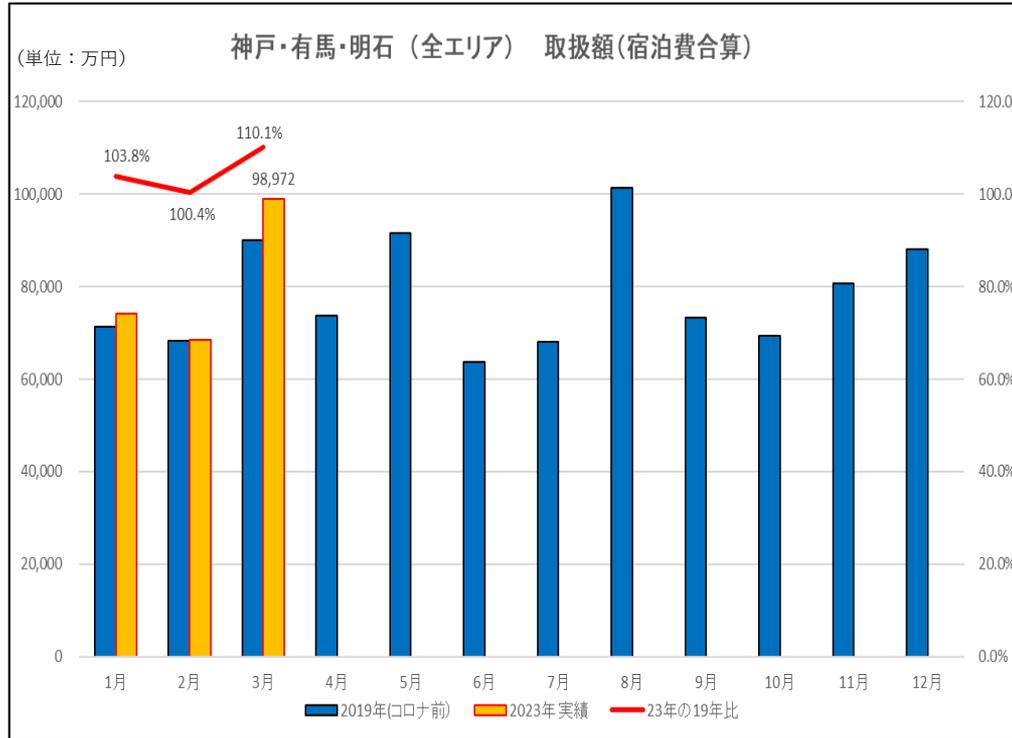
■ 直近のOTA予約状況について

大手OTAの3月分の実績は2019年度比で**全市取扱額が110.1%、人泊数が103.5%**と堅調に推移。

特に市街地の取扱額の伸びが顕著で、宿泊費の単価向上とも相まって2019年の115.8%まで数字を伸ばしている。

一方、有馬エリアでは3月の延べ人泊数は、95.8%に留まったが、取扱額は102.2%と2019年比よりも宿泊単価が向上している傾向が続いている。今後、インバウンドの復活などで、人気の宿泊施設の予約が取りづらくなると、早期予約の傾向が強くなる可能性が高く、次ページ以降の予約状況の推移も今後注視していきたい。

【実績】



【実績】 2019年度比

	1月	2月	3月
全市			
取扱額	103.8% (82.8%)	100.4% (61.3%)	110.1% (74.7%)
人泊数	93.0% (83.7%)	95.0% (68.4%)	103.5% (83.0%)
市街地			
取扱額	108.5% (80.8%)	109.5% (59.3%)	115.8% (71.5%)
人泊数	97.3% (85.7%)	104.4% (71.0%)	109.4% (90.2%)
有馬			
取扱額	97.5% (83.5%)	93.0% (63.4%)	102.2% (80.3%)
人泊数	85.5% (77.3%)	87.8% (61.8%)	95.8% (79.6%)

黒太字は

2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

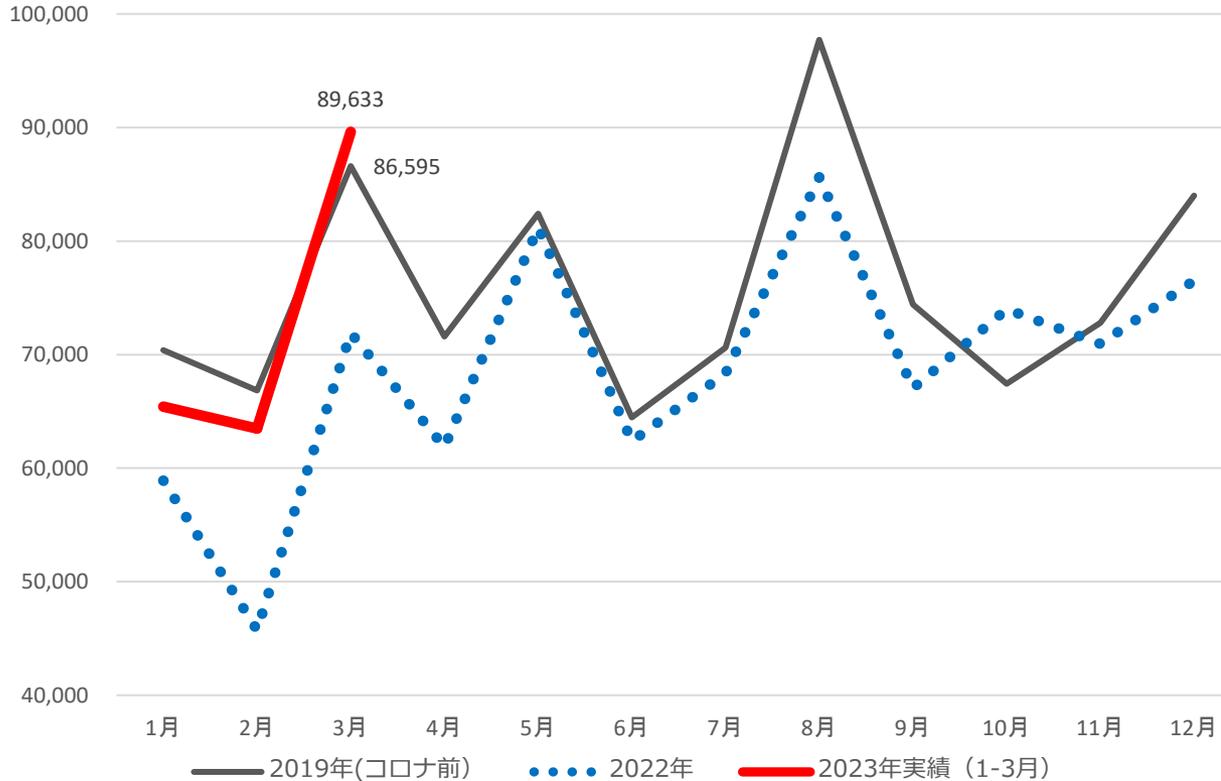
上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【DATAに関する基本情報】

- ・某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

グラフ[A] OTA 神戸・有馬(全エリア)への延べ人泊数



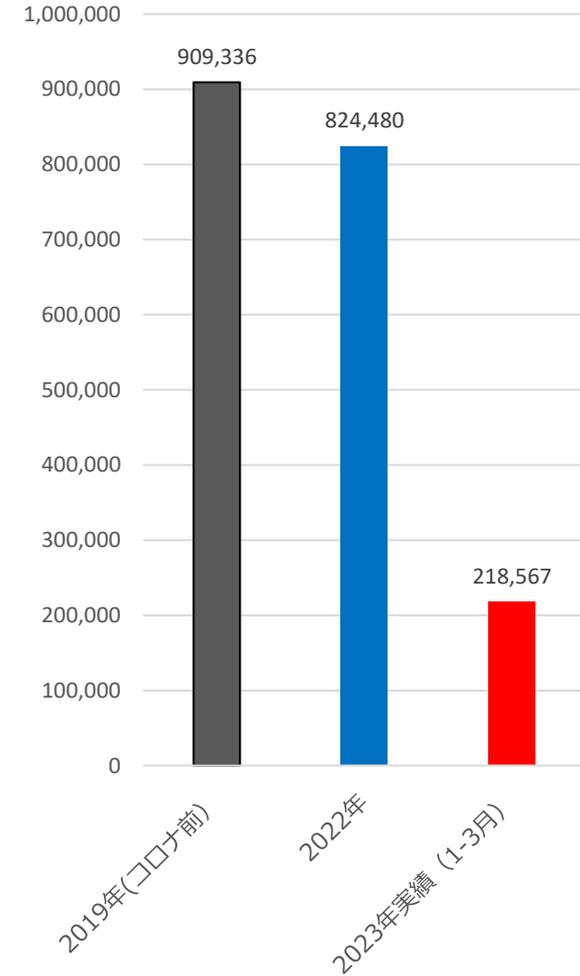
【考察① グラフ [A] 2023年度の出だし好調】

- ・2023年 1-3月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移しており、好調。
- ・3月単月では、2019年3月の8万6595人泊を上回る8万9633人泊となった。

【考察② グラフ [B] 2022-2019 年間延べ人泊数の比較】

- ・2022年の神戸市内全域（145施設）への延べ宿泊者数の実績は、82万4480人泊。
- ・2019年（コロナ前・90万9336人泊）の90.7%まで回復。
- ・2023年 1-3月までは、21万8567人泊で、前年比26.5%に当たる。

グラフ[B] OTA 神戸・有馬(全エリア)年間延べ人泊数



今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング



【予約】

【神戸市】

2019年比
〔取扱額〕

	4月	5月	6月	7月
全市				
4/9時点	105.9% (142.4%)	92.4% (142.7%)	114.1% (211.0%)	128.3% (215.9%)
3/19時点	98.7% (196.0%)	76.5% (168.1%)	89.6% (199.9%)	—
市街地				
4/9時点	120.0% (150.3%)	90.4% (151.0%)	104.3% (209.8%)	107.4% (220.8%)
3/19時点	104.9% (211.8%)	75.2% (165.1%)	84.3% (186.8%)	—
有馬				
4/9時点	89.0% (123.1%)	90.8% (114.8%)	118.4% (191.2%)	153.0% (215.9%)
3/19時点	91.0% (172.5%)	76.8% (157.8%)	89.4% (214.8%)	—

4/9時点の3か月先まで予約状況を見ると、夏の行楽シーズンの予約が少しずつ動き始めている様子が伺える。
神戸では、既に7月の予約が128.3%まで入っており、中でも有馬エリアでは153%の予約状況となっている。

【他エリア比較】

2019年比
〔取扱額〕

	4月	5月	6月	7月
淡路島				
4/9時点	112.8% (108.8%)	131.5% (120.6%)	186.5% (136.2%)	194.4% (125.8%)
3/19時点	127.7% (138.2%)	115.8% (147.7%)	162.0% (122.0%)	—
城崎				
4/9時点	79.1% (120.2%)	86.3% (134.4%)	94.7% (180.4%)	149.7% (193.0%)
3/19時点	87.5% (167.6%)	66.0% (174.3%)	91.8% (185.0%)	—

一方、大阪・京都・東京では、5・6月の予約が顕著に伸びており、これは4月上旬に配布された全国旅行支援のOTAクーポンの配布や、インバウンド回復による単価の増加などにより取扱額が上昇していると推察される。

	4月	5月	6月	7月
大阪市エリア				
4/9時点	131.4% (203.4%)	129.3% (245.1%)	154.6% (322.9%)	87.2% (348.6%)
3/19時点	119.9% (278.1%)	105.2% (300.7%)	149.0% (384.1%)	—
京都市エリア				
4/9時点	119.4% (166.6%)	110.2% (209.3%)	172.6% (400.6%)	115.2% (272.3%)
3/19時点	107.8% (213.6%)	81.0% (216.1%)	93.2% (259.1%)	—
東京23区エリア				
4/9時点	118.6% (208.0%)	120.0% (268.5%)	144.6% (408.8%)	108.8% (330.3%)
3/19時点	119.6% (328.3%)	99.9% (289.1%)	108.9% (384.6%)	—

黒太字は
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

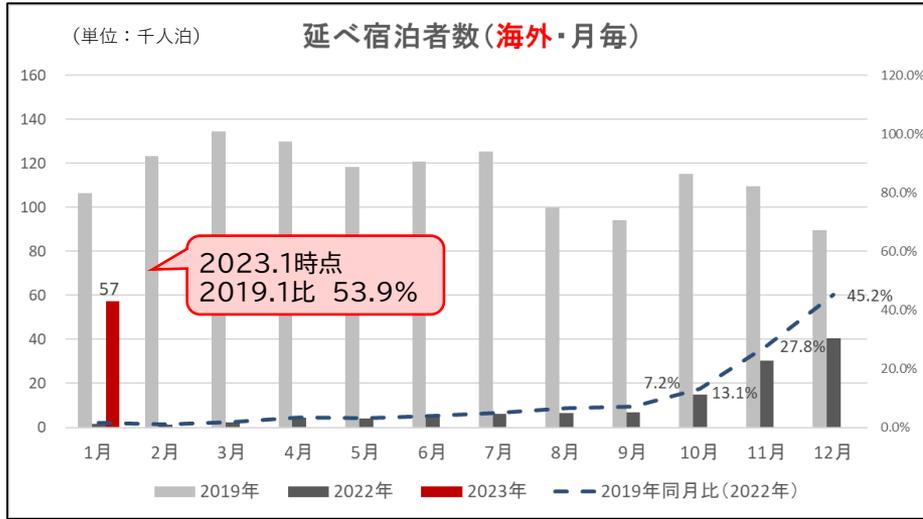
定点観測

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.1まで

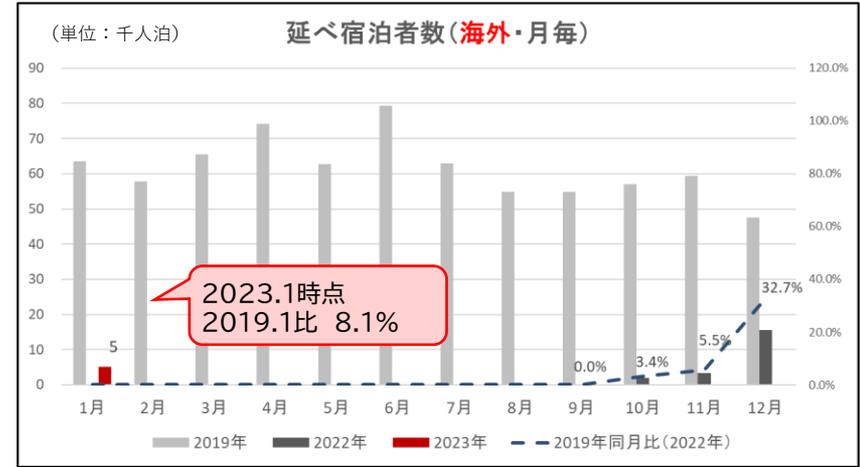


【兵庫県】

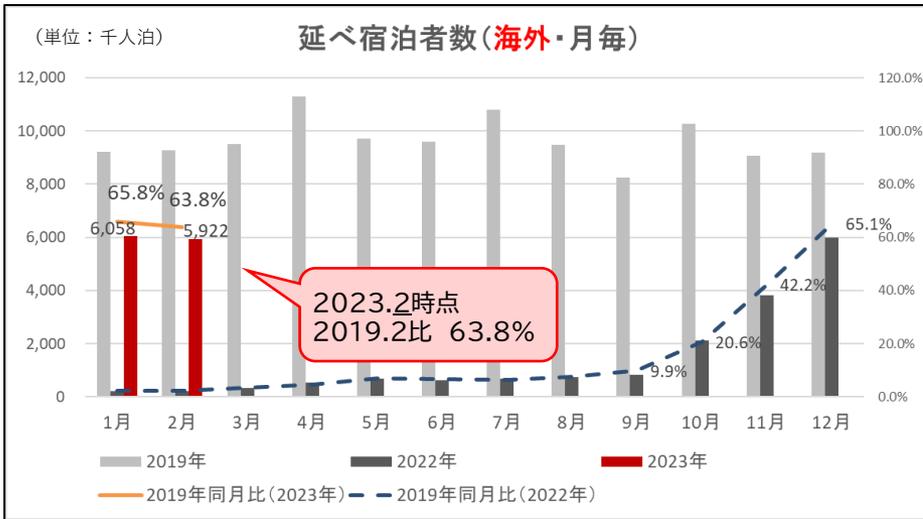


【参考：神戸市】

※数値更新中



【全国】 ※R5.2推計値まで



<傾向／2019年同月比(コロナ前)との比較>

- ・兵庫県では、コロナ前と比較し、約5割台まで回復
- ・全国的には、コロナ前と比較し、約6割台まで回復

※コロナ前比較:2019.1～2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

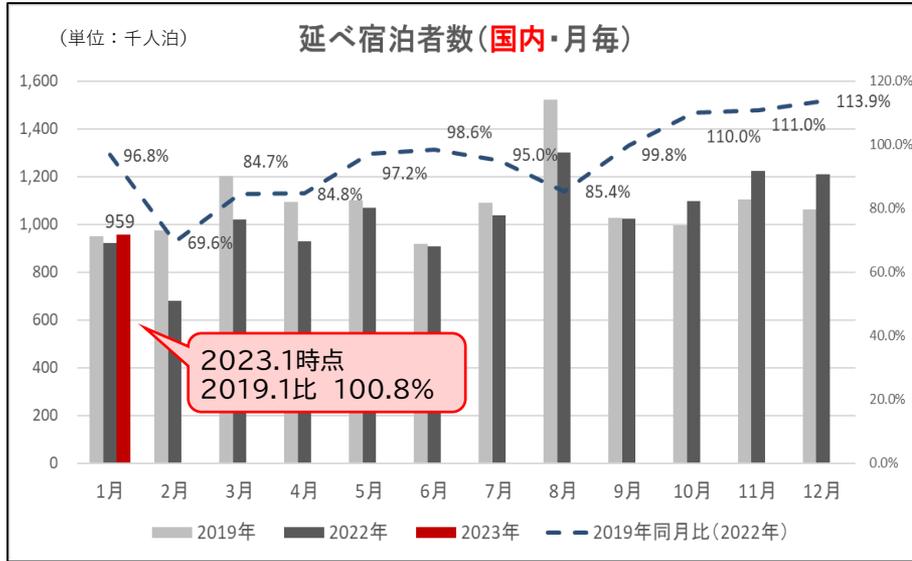
- ・令和5年1月 第2次速報値
- ・令和5年2月 第1次速報値

【神戸市】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(情報更新により数値変動あり) ※2023.4.24時点集計

※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

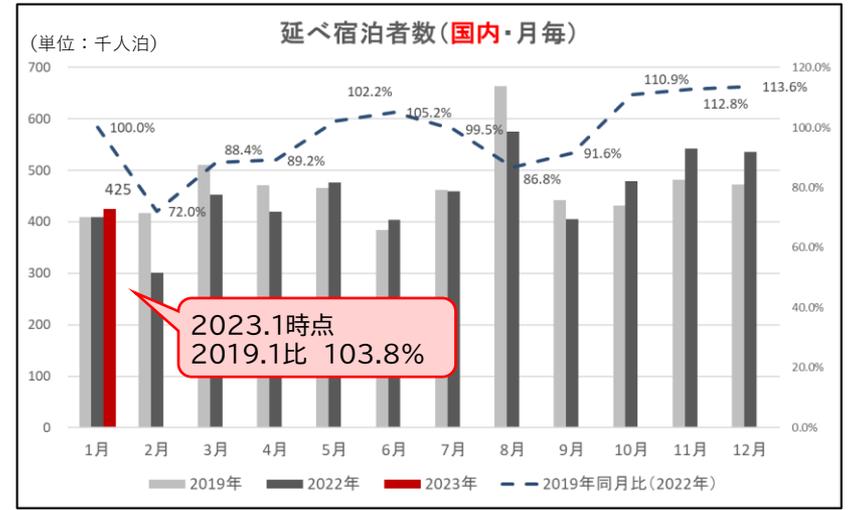
延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.1まで

【兵庫県】

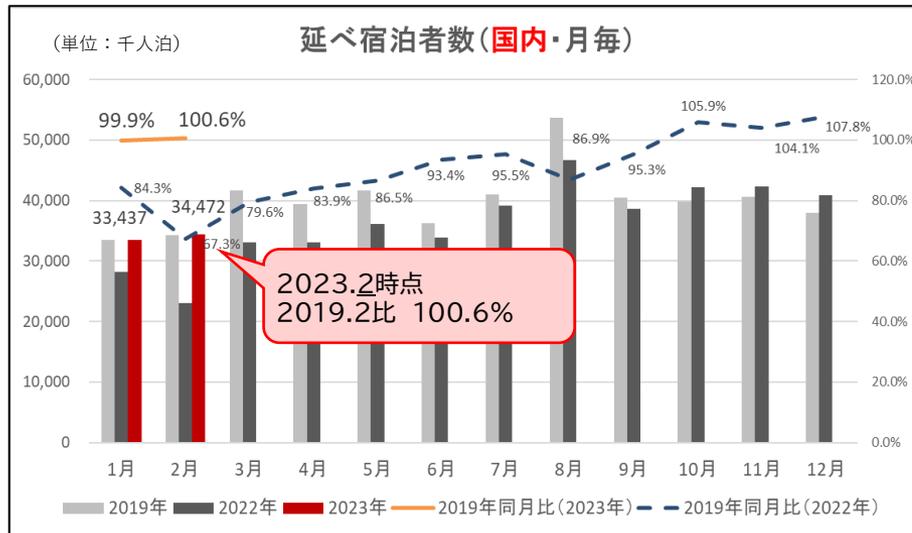


【参考：神戸市】

※数値更新中



【全国】 ※R5.2推計値まで



<傾向／2019年同月比(コロナ前)との比較>

・兵庫県、全国ともにコロナ前を超える水準まで回復

※コロナ前比較:2019.1～2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和5年1月 第2次速報値

・令和5年2月 第1次速報値

【神戸市】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

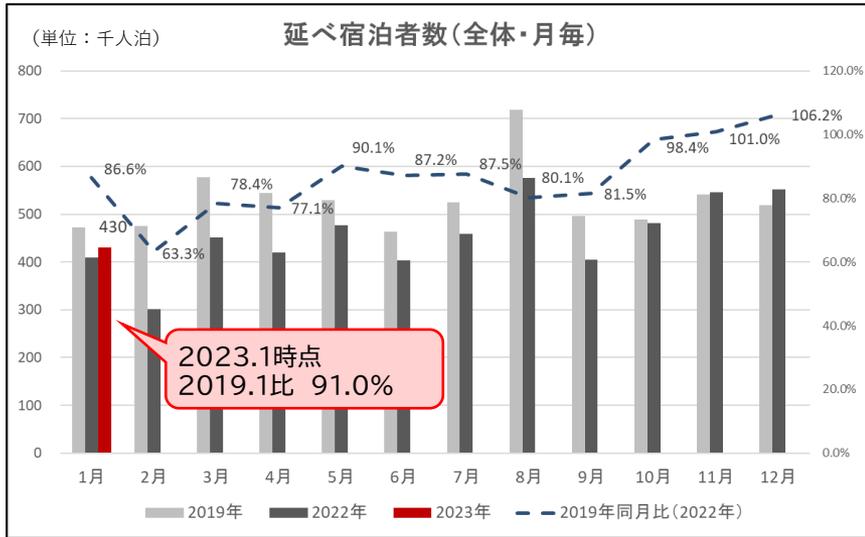
(情報更新により数値変動あり) ※2023.4.24時点集計

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【神戸・大阪・京都比較】

※R5.1まで



【神戸市】



※3市とも数値更新中

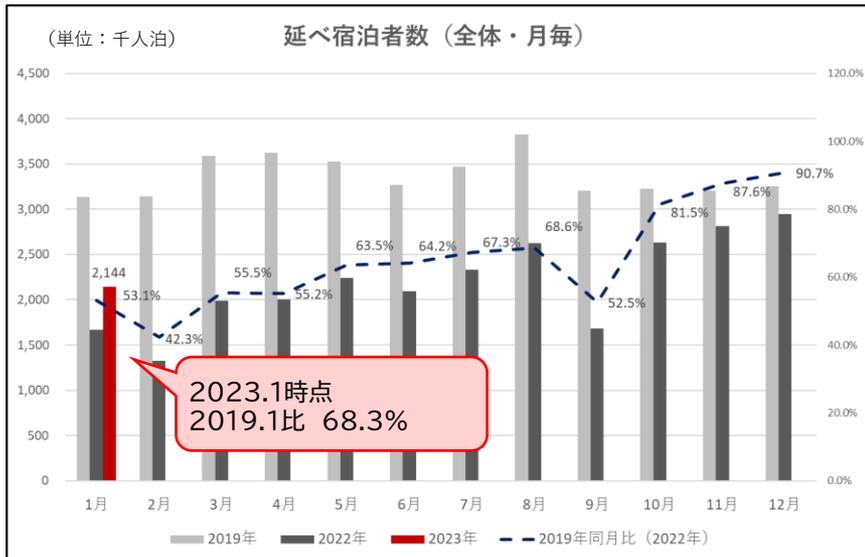
<傾向／2019年同月比(コロナ前)との比較>

- ・神戸・京都はコロナ前と同等あるいは上回る程度回復している。
- ・大阪はコロナ前の水準に達しておらず、今後さらに伸びる可能性がある。

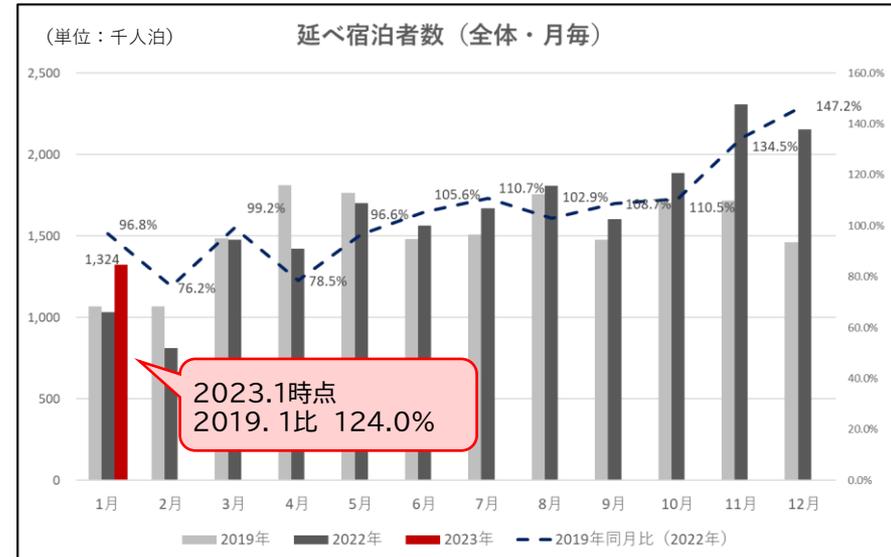
※コロナ前比較:2019.1～2019.12をベースに同月比較

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(情報更新により数値変動あり) ※2023.4.24時点集計
※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

【大阪市】



【京都市】



2022年11月 (単位：千人泊)

順位	発地	延べ人泊数	
1	東京都	69	(12.7%)
2	大阪府	63	(11.6%)
3	兵庫県	55	(10.1%)
4	神奈川県	42	(7.7%)
5	愛知県	35	(6.4%)

2023年1月 (単位：千人泊)

順位	発地	延べ人泊数	
1	兵庫県	63	(14.8%)
2	大阪府	57	(13.4%)
3	東京都	56	(13.2%)
4	愛知県	29	(6.8%)
5	神奈川県	26	(6.1%)

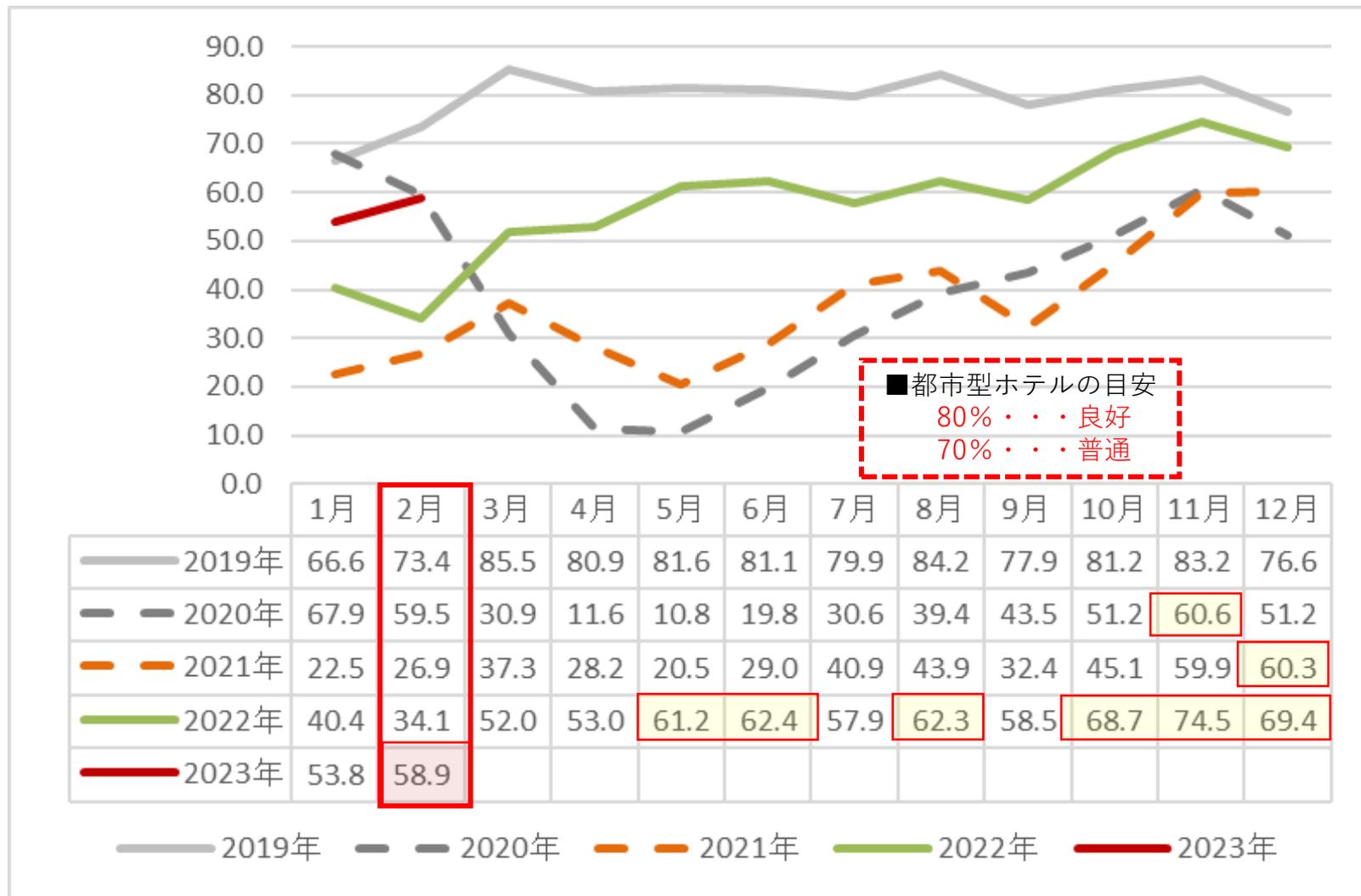
2022年12月 (単位：千人泊)

順位	発地	延べ人泊数	
1	兵庫県	79	(14.7%)
2	大阪府	77	(14.4%)
3	東京都	56	(10.4%)
4	愛知県	37	(6.9%)
5	神奈川県	29	(5.4%)

・12月以降、兵庫県内や大阪といった近隣からの旅行者が増加傾向。

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(情報更新により数値変動あり) ※2023.4.24時点集計
※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

市内ホテル平均稼働率



【参考】英調査会社STR発表
2月 国内ホテル稼働率
全国：71.8%
(前月比+7.6pt)

ホテル稼働率は3ヵ月ぶりに前月を上回り、70%を超えた。中国からの訪日客は限定的であるものの、東南アジアや欧米客が回復傾向。

※10社ベース

インバウンド情報

(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)



訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
1月	2,689,339名	1,497,472名	▲44.3%
2月	2,604,322名	1,475,300名	▲43.4%
3月	2,760,136名	1,817,500名	▲34.2%

- ・2022年10月の水際対策の緩和から半年で、訪日外客数は3月時点で約181万人まで急速な回復を見せた。(2022年9月：約20万人)
- ・韓国や台湾がけん引する形となっているが、3月末に中国本国からの航空便が復活し、今後更なる回復が想定される。
- ・一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10～添乗員付きパッケージツアーに限定した訪日観光が再開。
 9/7～ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。
 10/11～、1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	1,497,472 (1,308,606)	-44.3 (-44.2)
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	* 1,475,300	* -43.4
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	* 1,817,500	* -34.2
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)		
5 May	2,773,091 (2,455,865)		
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)		
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)		
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)		
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)		
1～3 Jan.-Mar.	8,053,797 (7,098,158)	* 4,790,300	* -40.5
1～12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)		

訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

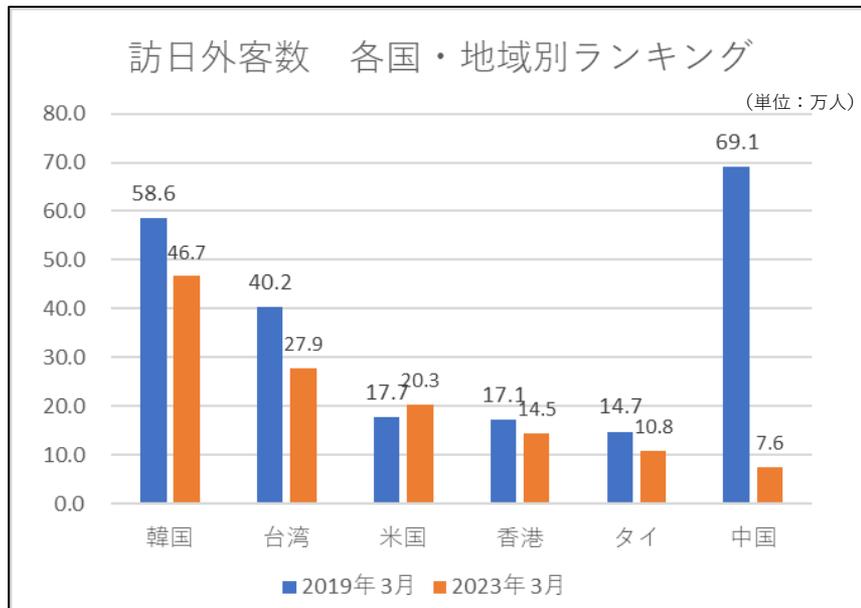
2023年3月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 3月	2023年 3月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月～3月	2023年 1月～3月	(順位)	伸率 (%)
韓国	585,586人	466,800人	(1位)	▲ 20.3	2,080,773人	1,600,700人	(1位)	▲ 23.1
台湾	402,433人	278,900人	(2位)	▲ 30.7	1,189,760人	786,700人	(2位)	▲ 33.9
米国	176,564人	203,000人	(3位)	15.0	372,424人	378,000人	(4位)	1.5
香港	171,430人	144,900人	(4位)	▲ 15.5	505,046人	416,200人	(3位)	▲ 17.6
タイ	147,443人	108,000人	(5位)	▲ 26.8	347,937人	244,700人	(5位)	▲ 29.7
中国※	691,279人	75,700人	(7位)	▲ 89.0	2,169,317人	143,200人	(8位)	▲ 93.4



3月は米国が
3位に浮上！

※2019年3月 1位



3月動向

- 3月の訪日外客数は、桜シーズンの訪日需要の高まりやクルーズ船の運航再開等の影響により、2019年同月比65.8%の1,817,500人となった。米国をはじめとした欧米豪中東地域からの訪日外客数の大幅な増加が全体を押し上げ、当月は昨年10月の個人旅行再開以降で最高を記録した。
- 定期便においては、夏ダイヤへの変更に合わせて増便・復便がなされているが、依然として多くの市場では回復途上にある。
- 新たな観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）を踏まえ、観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進しつつ、インバウンドのV字回復を図る必要がある。国内関係者が連携し、海外旅行会社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャートラベルの推進、MICE誘致等の取組を強化していくことが求められる。

主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～台湾～ by KTBインバウンドTM

・人口・・・2,326万人(2022年12月)

・GDP(1人当たり)・・・2019：2万6千ドル → 2021：3万4千ドル
(cf. 日本 2019：4万1千ドル → 2021：3万9千ドル)

★国際旅行支出・・・2017：180億米ドル → 2018：194億米ドル → 2019：204億米ドル

★訪日旅行者数・・・2017：456万人 → 2018：475万人 → 2019：489万人

※将来の地方訪問意向率も87.3%でJNTO重点市場中トップ

👉神戸もチャンス！

・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性=43:57 / ボリュームゾーン 10～30代(56%)
2021 男性：女性=39:61 / // 20～40代(68%)

・情報収集媒体・・・①YouTube(54.0%) ②Facebook(45.9%) ③**バックパッカーズ**(38.2%) * 旅行情報掲示板



台湾のSNSインフルエンサーカテゴリーでは、①グルメ(3万人) ②撮影(2.1万人) ③コーデ(ファッション)(1.8万人) ⑦**旅行(1万人)**となっており、旅行系も相当数存在する。**旅行系インフルエンサーの投稿はInstagramが中心。**

→グルメ×インフルエンサー=ヒットの法則の傾向アリ！ 出典：iKala Japan株式会社「訪日台湾人の特徴とSNSを活用したインバウンド施策」より抜粋



～神戸観光局 海外拠点ネットワークより報告～

・台湾人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)

春に入り、SNS上で多く見受けられるのは「花見」に関する記事。2月は台湾の桜や日本の早咲き桜、3月からは開花予想情報や日本各地の花見スポット関連記事の転載が多く、それに紐づき、東京・大阪・京都という主要都市の情報が多く見られた。実際の開花時期に入ると、ネット上では桜関連記事がバズるなど、とにかく花関連のコンテンツが目立った。その他、「THE FIRST SLAM DUNK」や「すずめの戸締り」等の日本アニメ映画が台湾で大ヒットとなった。

・余暇の志向など、コロナ前後で変化したことなど注目のトピックス

コロナ禍において、台湾国内旅行の情報が増加し、花見スポットや穴場スポットに関する情報が誰でもインターネット上で入手できるようになったことから、今まで以上に国内の人気が高まるとともに、国内キャンプやグランピングの需要も高まっている。訪日旅行に関しては、通販等により日本の物品を気軽に購入できるようになったため、買い物目当てに日本へ行く需要は以前と比べて伸びていない。また、個人旅行の割合が高まるとともに、訪日期間が若干ではあるが長期化傾向にある。

・神戸のイメージ、神戸に期待することなど最新版

空港MRT内でmaomaotv(2022年度の神戸観光局と阪神電車による共同PRの施策)の動画を見かけたという声が聞かれているが、実際にずっとリピートされている。→今年度も阪神電車との共同PRは継続。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	12月	2023年 1月	2月
国際線 発着数(回)	6,242	6,227	6,197
2019年比	▲55%	▲55%	▲48%
総旅客数(人)	1,352,147	1,390,798	1,456,834
2019年比	▲47%	▲47%	▲42%
外国人 旅客数(人)	663,438	753,219	736,776
2019年比	▲50%	▲47%	▲46%
国内線 旅客数(人)	560,251	502,333	552,232
2019年比	+1%	▲9%	+5%

神戸	12月	2023年 1月	2月
国内線発着 回数(回)	3,058	2,812	2,755
2019年比	±0%	+16%	+25%
国内線 旅客数(人)	279,040	253,485	263,184
2019年比	±0%	+2%	+7%



<関西国際空港・神戸空港の状況>

- ・2月の関西国際空港の状況は、1月期と比較して、国際線の発着回数が回復傾向
- ・外国人旅客数は、2月も順調に増加し、コロナ前と比較して50%以上の回復となり、今後の更なる回復が期待される。
- ・神戸空港については、1月以降、順調に回復傾向を示している。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は[37ページ](#)、
2023年2月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は[38ページ](#)へ

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

関空国際線就航状況・入国状況

～KTBターゲット10か国(2019年時点)～

4月20日時点

国際線就航 状況(便数)	2020年 1月	2022年 10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	6	3	3	3	3	3	5
豪州	12	4	2	2	3	4	4	5
中国	630	6	5	8	8	8	8	98
台湾	169	30	58	63	73	75	91	101
香港・マカオ	117	16	31	46	59	66	69	69
韓国	244	82	140	167	196	238	239	265
タイ	47	16	12	12	18	18	21	31
マレーシア	14	6	5	5	5	15	15	15
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0

中国の便数が前月8便から98便へと大幅な増加。
(2020年1月の15.5%)

※1週間に就航している便数

出典: 関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年 1月	2022年 10月	11月	12月	2023年 1月
英国	3,526	1,302	1,716	2,001	1,879
フランス	2,271	2,315	2,067	1,434	1,324
豪州	11,956	1,110	2,767	5,993	6,964
中国	328,191	4,650	4,509	6,669	7,109
台湾	102,205	8,851	27,171	42,599	60,196
香港	51,421	15,302	28,268	45,600	49,918
韓国	85,174	43,126	113,546	144,508	175,758
タイ	22,458	6,085	9,772	12,434	10,839
マレーシア	11,684	2,365	5,459	6,915	7,085
インドネシア	8,866	2,189	3,096	7,243	5,283

1月の入国状況は、前月比で台湾(141%)韓国(121%)と、順調な伸びを示しているが、タイ・マレーシア・インドネシアは前月より微減で落ち着いている。

関空入国者数速報値では2月から3月は増加、42万人台に突入した。

※2023.3月速報値
 関空入国者数: 425,327人 (2月: 369,191人 1月: 379,298)

出典: 総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】ポートターミナル・中突堤

		3月分					累計				
		R4年度	R3年度	R1年度	前年比	R1年度比	R4年度	R3年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	14	9	3	156%	467%	119	89	150	134%	79%
	船客数	7,736	1,368	0	565%	-	26,683	7,143	180,727	374%	15%

【各施設内訳】

ポートターミナル

		3月分					累計				
		R4年度	R3年度	R1年度	前年比	R1年度比	R4年度	R3年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	9	9	3	100%	300%	111	84	94	132%	118%
	船客数	4,701	1,368	0	344%	-	22,875	6,701	142,298	341%	16%
日中国際フェリー (新笠真・蘇州線)	隻数	4	4	3	100%	133%	52	55	28	95%	186%
	船客数	0	0	0	-	-	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	1	5	0	20%	-	53	29	11	183%	482%
	船客数	233	1,368	0	17%	-	18,387	6,701	7,385	274%	249%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	2	0	3	-	67%
	船客数	0	0	0	-	-	20	0	1,262	-	2%
外国籍船	隻数	4	0	0	-	-	4	0	52	-	8%
	船客数	4,468	0	0	-	-	4,468	0	131,125	-	3%

中突堤

		3月分					累計				
		R4年度	R3年度	R1年度	前年比	R1年度比	R4年度	R3年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	5	0	0	-	-	8	5	56	160%	14%
	船客数	3,035	0	0	-	-	3,808	442	38,429	862%	10%
日本船 (内航)	隻数	0	0	0	-	-	3	5	42	60%	7%
	船客数	0	0	0	-	-	773	442	29,813	175%	3%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	0	0	5	-	0%
	船客数	0	0	0	-	-	0	0	2,286	-	0%
外国籍船	隻数	5	0	0	-	-	5	0	9	-	56%
	船客数	3,035	0	0	-	-	3,035	0	6,330	-	48%

■全体

3月はR3年度比で隻数+5、船客は+6,368。R1年度比で隻数+11、船客は+7,736。

3月8日の「DIAMOND PRINCESS」の入港を皮切りに神戸港への外国籍クルーズ船の寄港が再開。

3月30日・31日には神戸港で初めて外国籍クルーズ船が3隻同時入港し、神戸港が客船で賑った。

■ポートターミナル

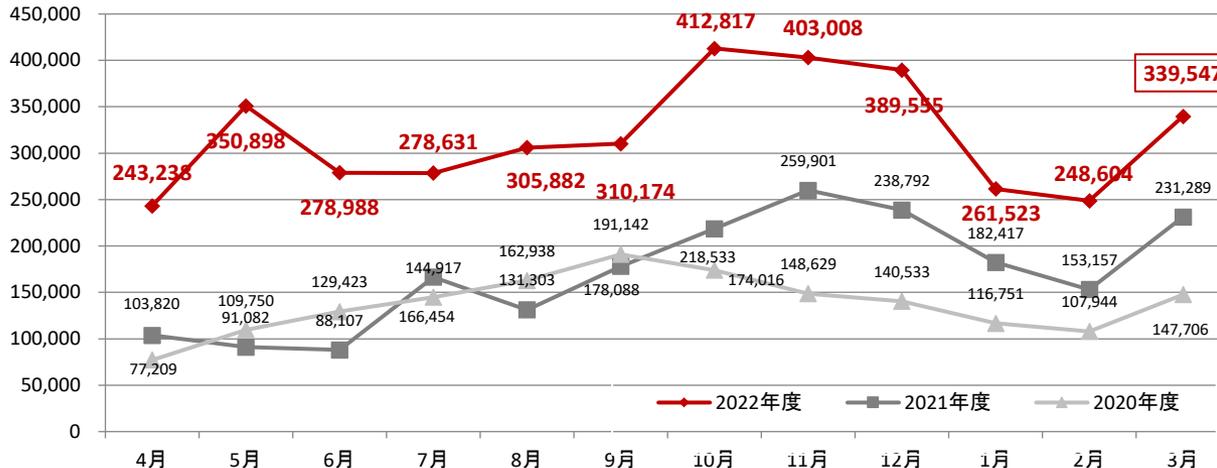
3月の入港隻数は9。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、日本籍船「にっぽん丸」が1、外国籍「DIAMOND PRINCESS」が1、「WESTERDAM」が1、「EUROPA2」が1、「AZAMARA QUEST」が1。

■中突堤

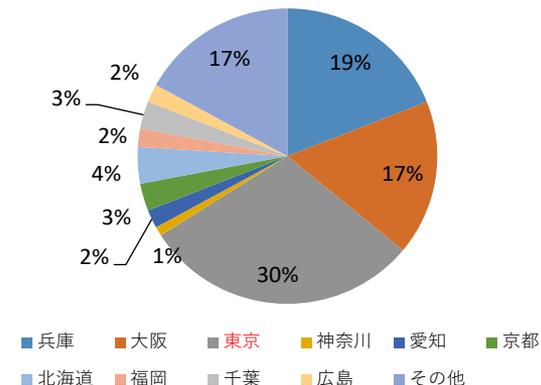
3月の入港隻数は5。内訳は外国籍船「SEVENSEAS EXPLORER」が3、「NAUTICA」が2。

神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

■ UU数の推移 ※UU（ユニークユーザー）=HPを訪問した人の数



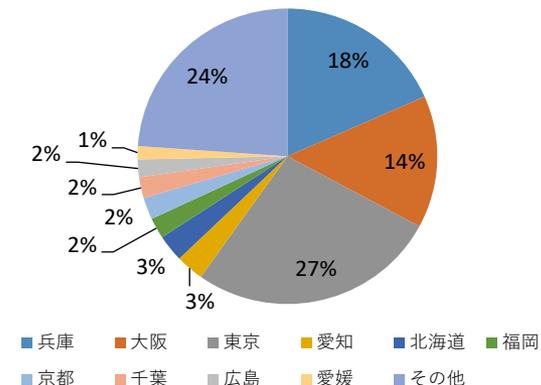
■ ページ訪問者の居住地（当月）



■ 上位訪問先ページ（全体）

順位	ページ名	URL	PV数
1	【イベント】一覧	https://www.feel-kobe.jp/event/	44,127
2	【エリアガイド】メリケンパーク・ハーバーランド	https://www.feel-kobe.jp/area-guide/meriken-harbor/	36,153
3	【モデルコース】一覧ページ	https://www.feel-kobe.jp/model_course/	27,601
4	【イベント】「神戸イルミネージュ ドローンライトショー」メリケンパーク	https://www.feel-kobe.jp/event/18406/	21,393
5	【モデルコース】異人館街、中華街、神戸港も！はじめての神戸旅定番コース	https://www.feel-kobe.jp/model_course/modelcourse_01/	17,740

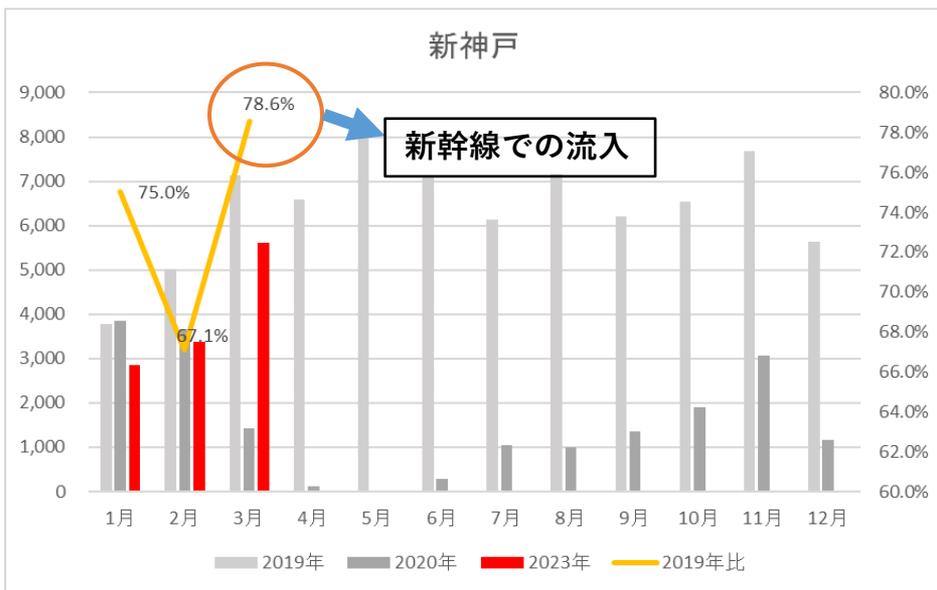
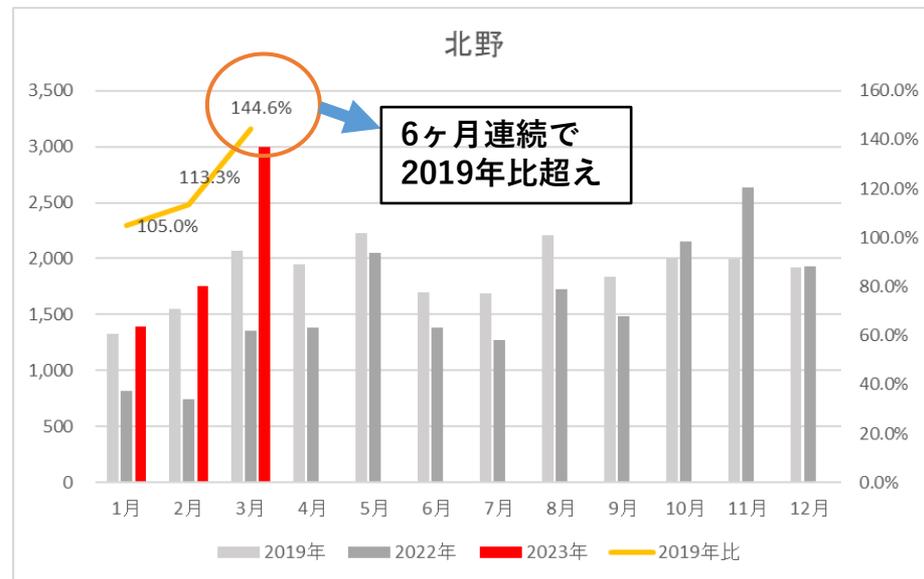
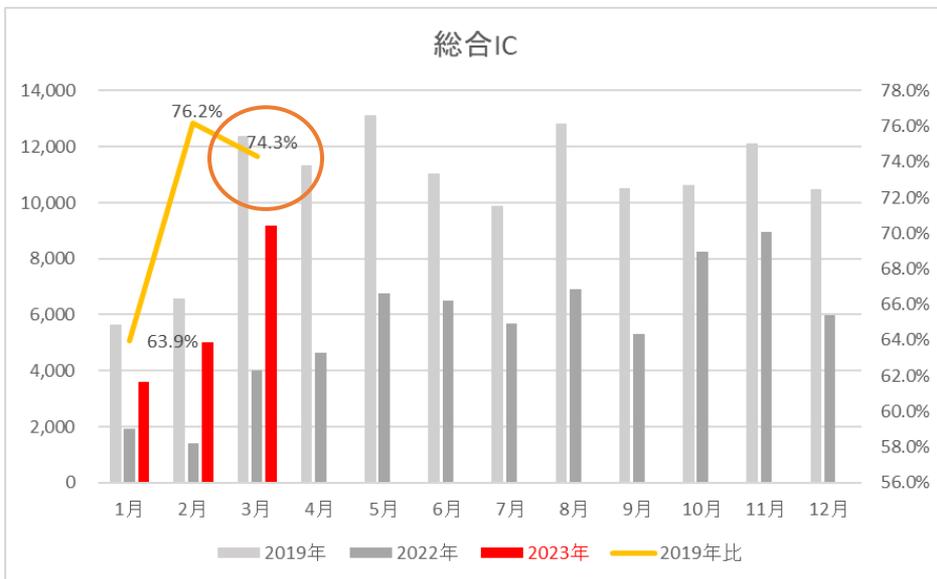
※ ページ訪問者の居住地（前月）



■ 概要

ホームページにアクセスするユニークユーザー（UU）数について、2022年3月は前月136%となる33.9万UUとなり大きく増加した。ユーザーの地域別割合の傾向については、兵庫・大阪・東京など大都市からのアクセス割合が増加した。ページ別でのPV数ランキングでは、上位ページに変化は無いが、メリケンパークで開催された「神戸イルミネージュ ドローンライトショー」が大きくアクセスを集めた。

市内観光案内所 国内観光客案内件数 (2023.3)



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

前月比183%、春休みに入り国内旅行者数も増加。若者、家族連れなど。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

前月比171%、梅の開花シーズンで賑わう。アジア系団体ツアー客、校外学習の生徒など。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

前月比167%、インバウンド旅行者、クルーズ船乗客、受験生など。

3月案内所全体件数 17,794件 ⇒ 前月比176% 2019年比82.4%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔客数状況〕 ・3月中下旬～4月中旬は平日450名ほど・休日550名ほど。
- 〔客層〕
 - ・卒業式や入学式の学生や親子連れ、センバツ高校野球関連の人々。
 - ・アジア系ばかりではなく、欧米系も増加傾向。クルーズ船乗客。
- 〔行き先〕 ・市内観光スポット、みなとやま水族館、有馬、六甲山。
- 〔内容〕
 - ・クルーズ船乗客より、ポートターミナルへ戻るアクセス問合せ。
 - ・選抜高校野球や卒業旅行の影響か、近隣のホテルが満室。
 - ・ペルソナスタンプラリーの問合せ。雨天での観光相談。

○ 北野観光案内所

通所営業時間
9-18時（3月～10月）
9-17時（11月～2月）

- 〔客数状況〕 ・3月中下旬～4月中旬は平日120名ほど・土日170名ほど。
- 〔客層〕
 - ・春休み期間は、ファミリー層や若者カップル多数。
 - ・アジア系、欧米系の旅行者、国内遠方からの観光客。
- 〔行き先〕 ・各異人館、有馬温泉、六甲山、ハーブ園、南京町など。
- 〔内容〕
 - ・桜の開花に伴い、国内外の観光客で北野天満神社が賑わう。
 - ・各新聞社より異人館や布引の滝などの取材依頼。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・3月中下旬～4月中旬は平日220名ほど、土日290名ほど。
- 〔客層〕
 - ・クルーズ船乗客、家族連れ、若者層、年配グループ。
 - ・アジア系・欧米系の旅行者。高校野球関連の人々。
- 〔行き先〕
 - ・市内観光、ハーブ園、滝、北野、どうぶつ王国、王子動物園など。
 - ・六甲山、淡路島、三田アウトレット、桜・夜景のスポット。
- 〔内容〕
 - ・クルーズ船乗客が訪れているが、京都・姫路へ新幹線で行っているケースが多い。
 - ・外国人観光客がレンタカーを利用するケースが増加傾向。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.3)

国・地域		総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	372	102	16	
	中国	38	18	43	
	台湾	286	61	58	
	香港	283	29	62	
	タイ	95	9	50	
	シンガポール	112	11	117	
	マレーシア	56		22	
	インドネシア	23	3	29	
	フィリピン	50	4	33	
	ベトナム	5		4	
	インド	15		19	
	パキスタン	1			
	バングラデシュ				
	その他アジア	621	13	126	
中東	イスラエル	4		15	
	トルコ			2	
	イラン				
	その他中東	21		4	
ヨーロッパ	英国	32	11	26	
	フランス	34	6	46	
	イタリア	4	8	7	
	ロシア	1		2	
	ギリシャ				
	アイルランド			2	
	その他ヨーロッパ	294	15	79	
アフリカ	南アフリカ共和国			3	
	エジプト				
	その他アフリカ	1		1	
北アメリカ	米国	187	18	191	
	カナダ	35	12	37	
	メキシコ			2	
	その他北米	15		11	
南アメリカ	ブラジル	5	1	9	
	アルゼンチン		1	10	
	コロンビア			2	
	その他中南米	8	1	4	
オセアニア	オーストラリア	29	2	58	
	ニュージーランド			6	
	その他オセアニア				
地域不明				355	
		(人)	2627	325	1451

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者2,627人、前月比148%。
韓国・台湾・香港の旅行者が中心で、タイやシンガポールからの外国人観光客が加わり増加傾向。
- ・神戸港では約3年ぶりに国際クルーズ船の受け入れを再開、欧米系外国人が市内にも訪れだしている。しかしながら、京都・大阪へ向かうケースも多く、すべての乗船客が神戸市内を周遊している状況ではない。
- ・全体としてはコロナ前の3月と比較して、5割程度の外客訪問者数。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者325人、前月比108%。
アジア系の方が外国人来所者の80%を占める。
アジア系のうち韓国約40%、次いで台湾が約25%、香港約15%。
- ・神戸の夜景に関する質問が目立つ。

〔新神戸観光案内所より概況〕

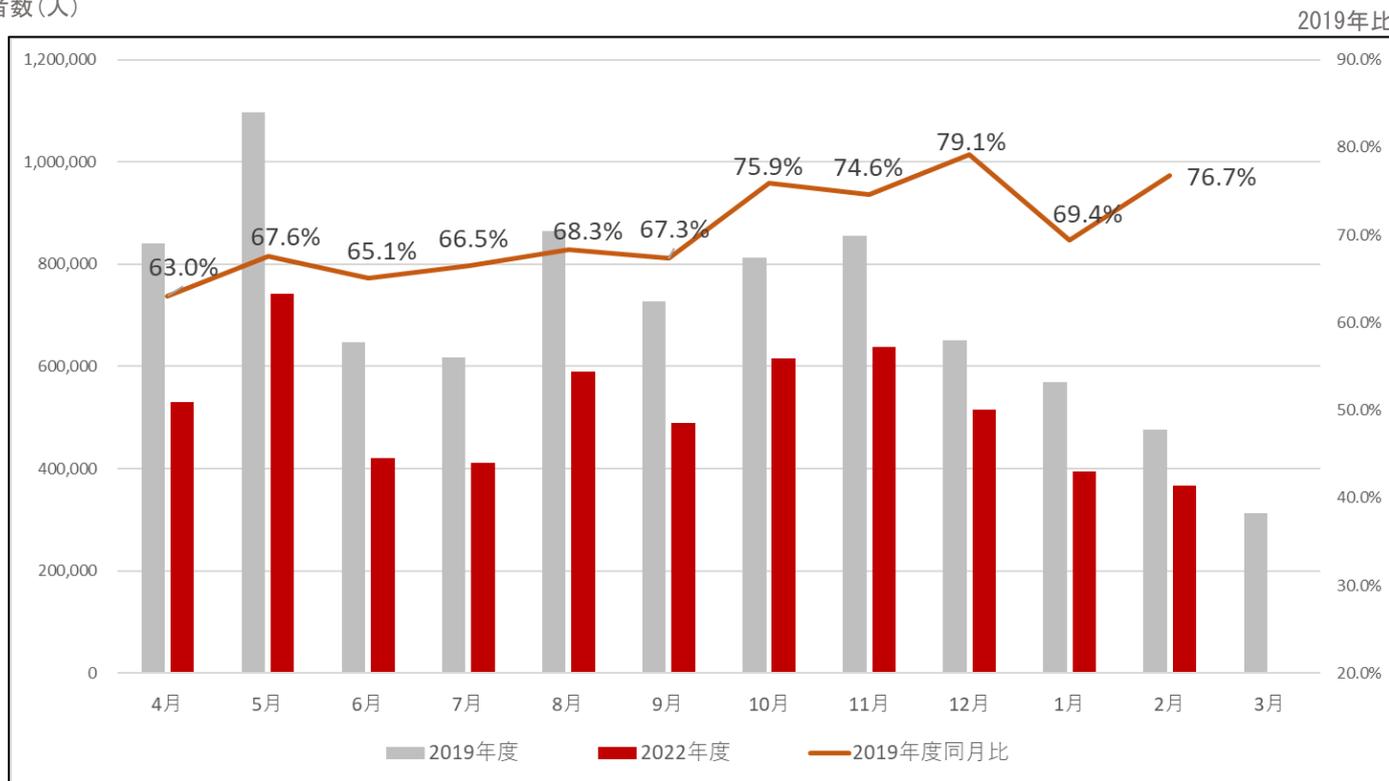
- ・外国籍利用者1451人、前月比188.2%。
シンガポール・米国からの旅行者が突出している。中東、南アメリカ、アフリカからのお客様も増加傾向。
- ・クルーズ船の寄港が再開され、乗船客が来館。新幹線にて広島・大阪・姫路などへの日帰り旅の質問が多い。
- ・目的がはっきりしている方の案内が多かった。
- ・JNTOの外国人向けホットラインの情報を掲示、多言語のパンフ、ムスリム向けパンフを充実させて、外客向けの対応に力を入れる。

3月案内所全体件数 4,403件 ⇒ 前月比154%
2019年比64.0%

主要市内観光施設来場者数（2023.2）

- ・ 2月の来場者数は36万人と3ヵ月連続で減少（2019年2月比：76.7%）
- ・ 先月に引き続き、インバウンドが増加傾向しており、特に韓国・台湾の団体・個人の旅行者が多い。（コロナ前と比較すると中国からの戻りが少ない。）

来場者数(人)



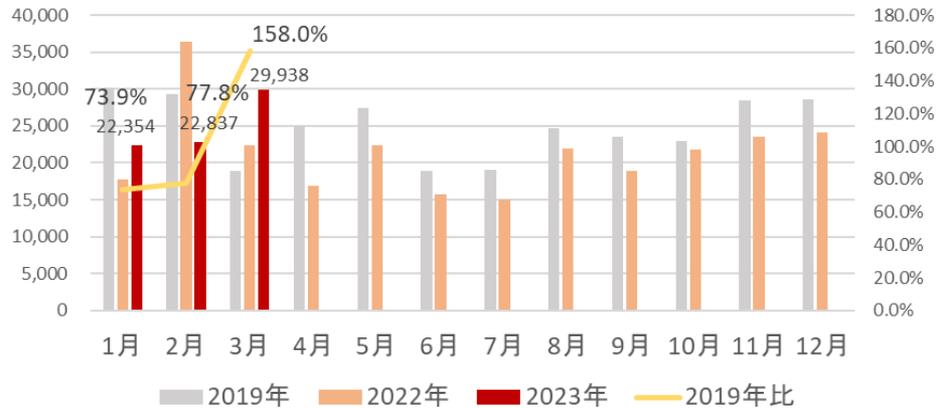
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~3月計
2019年度	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	568,364	476,847	313,416	8,471,308
2022年度	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	394,207	365,974		
2019年度同月比	63.0%	67.6%	65.1%	66.5%	68.3%	67.3%	75.9%	74.6%	79.1%	69.4%	76.7%		

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

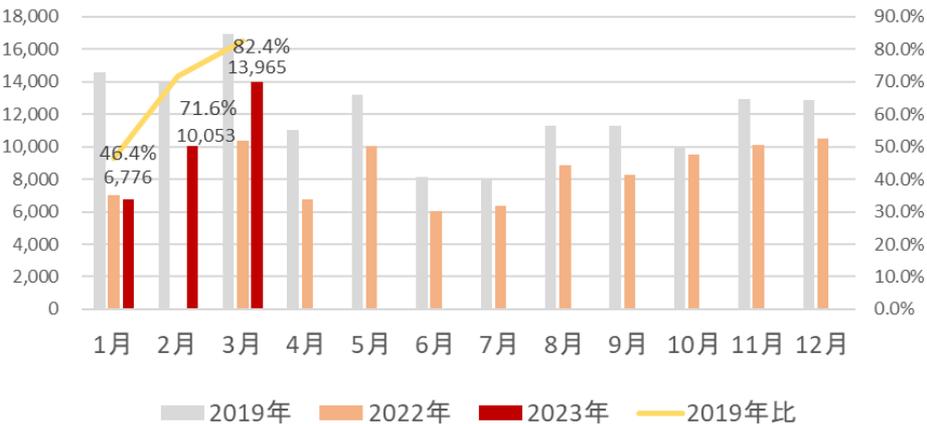
集計対象施設：全21施設（ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など）

所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

金の湯



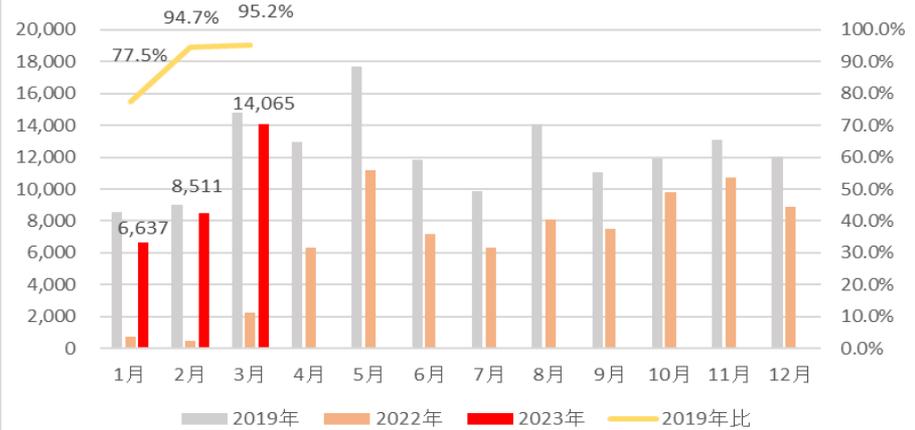
銀の湯



【コメント】

3月は学生を中心に若い方の利用が多く見られた。
 外国からの団体客については、韓国や台湾等、アジア方面からの旅行者が目立つ。
 2022年度全体では、金・銀あわせて36万5,621人の利用があり、2023年になってからの土日祝は入館制限を行うほど多くの利用者で賑わった

萌黄の館



【コメント】

3月の入館者数は14,065人、2019年比95.2%。
 コロナ前の2019年と同程度の水準で、インバウンドや高校生以下の入館者数が増加した。
 また、全国旅行支援のクーポン使用額についても過去最高となった。



神戸市内大型施設の主な催事情報(5～6月) 4月20日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



5月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目		3～4日 アート&てづくりバザール 3～7日 ファンタジーアート展	6～7日 ATEEZ WORLD TOUR	6日 伊藤美来	3～6日 第36回こうべ全国洋舞コンクール	1日 第98回毎日オープンテニス選手権大会
2週目	9～10日 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会 13～14日 日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会			7日 TULIP 12日 鈴木雅之 13日 フォレスタ		12～13日 県高校陸上競技対校選手権大会 13～14日 第44回県ジュニア新体操選手権大会
3週目	19～20日 小線源治療部会第25回学術大会	18～20日 第27回神戸国際宝飾展		18日 JUJU 20日 ディズニー・オン・クラシック	19日 ガラ・コンサート『神戸から未来へ』	17～18日 第54回全国ママさんバレーボール県予選会
4週目	24～25日 第76回日本酸化ストレス学会学術集会 26～28日 第16回日本緩和医療薬学会年会	24～25日 第175回 2023秋冬日本グラッドシューズコレクション & 全国サンダルフェア		21日 BUCK-TICK		26～28日 第76回県高校陸上競技対校選手権大会 県高校総体(テニス) 27～28日 第66回関西学生弓道選手権大会
5週目				28日 田村ゆかり		30～31日 第73回西日本学生体操競技選手権大会(体操・新体操)

6月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	3～4日 第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会	1～3日 日本麻酔科学会70回学術集会			3日 神戸市室内管弦楽団 第158回定期演奏会 「ウィーン古典派の万華鏡」	1～4日 第73回西日本学生体操競技選手権大会(体操・新体操)
2週目	9～10日 第72回公益社団法人全日本鍼灸学術大会神戸大会		10～11日 Kep1er JAPAN CONCERT TOUR2023	4日 斉藤和義 10日 スターダスト☆レビュー		10日 第62回全国実業団対抗テニス大会
3週目	16～18日 第68回日本透析医学学会学術集会・総会			11日 UNISON SQUARE GARDEN 13日 あいみょん 16日 Uru 17日 及川光博	17日 神戸文化ホールウェルカムジャンボリー2023 「コブホであそぼ!」	11日 第49回フェニックスラグビーフェスティバル
4週目			23～24日 Fantasy on Ice 2023 in KOBE	21日 舟木一夫 23日 ウクライナ国立民族舞踊団 24日 坂本冬美		
5週目	30～7月1日 第28回日本緩和医療学会学術大会			25日 DISH//		

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

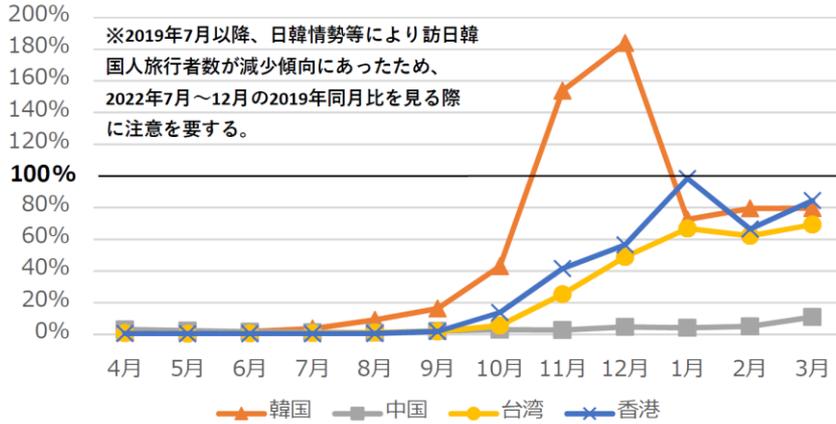
2023年3月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)



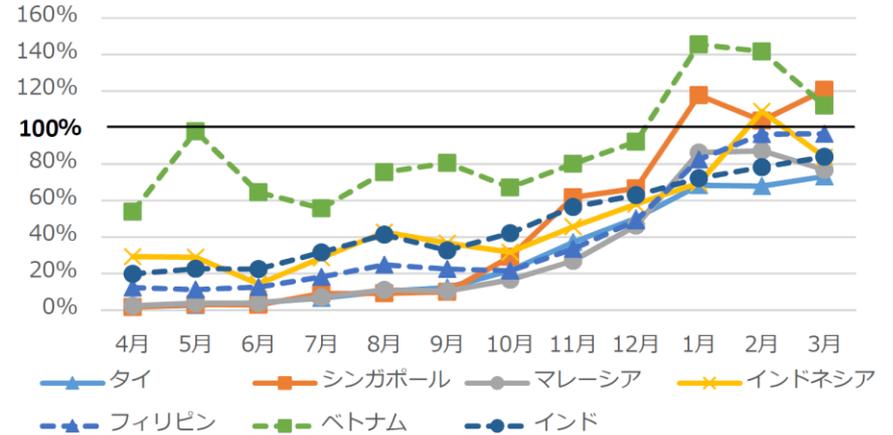
国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 3月	2023年 3月	伸率(%)	2019年 1月～3月	2023年 1月～3月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,760,136	1,817,500	-34.2	8,053,797	4,790,300	-40.5
韓国	South Korea	585,586	466,800	-20.3	2,080,773	1,600,700	-23.1
中国	China	691,279	75,700	-89.0	2,169,317	143,200	-93.4
台湾	Taiwan	402,433	278,900	-30.7	1,189,760	786,700	-33.9
香港	Hong Kong	171,430	144,900	-15.5	505,046	416,200	-17.6
タイ	Thailand	147,443	108,000	-26.8	347,937	244,700	-29.7
シンガポール	Singapore	43,687	52,700	20.6	92,465	106,500	15.2
マレーシア	Malaysia	50,615	38,900	-23.1	118,674	98,000	-17.4
インドネシア	Indonesia	39,609	33,200	-16.2	96,708	82,600	-14.6
フィリピン	Philippines	48,277	46,600	-3.5	119,434	110,200	-7.7
ベトナム	Vietnam	47,881	53,600	11.9	122,633	161,000	31.3
インド	India	17,752	14,900	-16.1	39,291	31,100	-20.8
豪州	Australia	44,175	45,200	2.3	172,896	135,500	-21.6
米国	U.S.A.	176,564	203,000	15.0	372,424	378,000	1.5
カナダ	Canada	37,959	36,400	-4.1	84,135	74,100	-11.9
メキシコ	Mexico	5,740	5,800	1.0	12,244	10,400	-15.1
英国	United Kingdom	38,610	34,800	-9.9	83,718	65,500	-21.8
フランス	France	29,408	21,200	-27.9	62,125	43,300	-30.3
ドイツ	Germany	28,659	25,900	-9.6	53,401	42,600	-20.2
イタリア	Italy	14,956	12,700	-15.1	26,886	21,600	-19.7
スペイン	Spain	8,916	7,600	-14.8	17,831	14,000	-21.5
ロシア	Russia	11,701	3,400	-70.9	23,618	6,400	-72.9
中東地域	Middle East	11,726	12,300	4.9	19,292	20,200	4.7
その他	Others	105,730	95,000	-10.1	243,189	197,800	-18.7

2022-2023年訪日外客推移（2019年同月比）

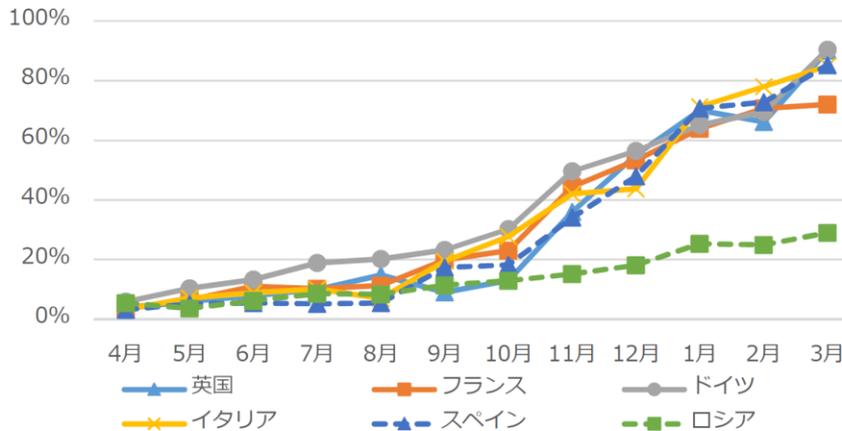
東アジア



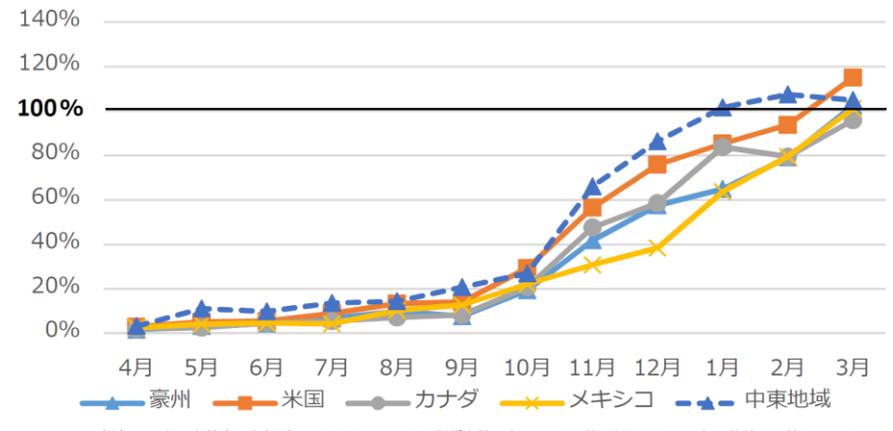
東南アジア



欧州



北米・豪州・中東

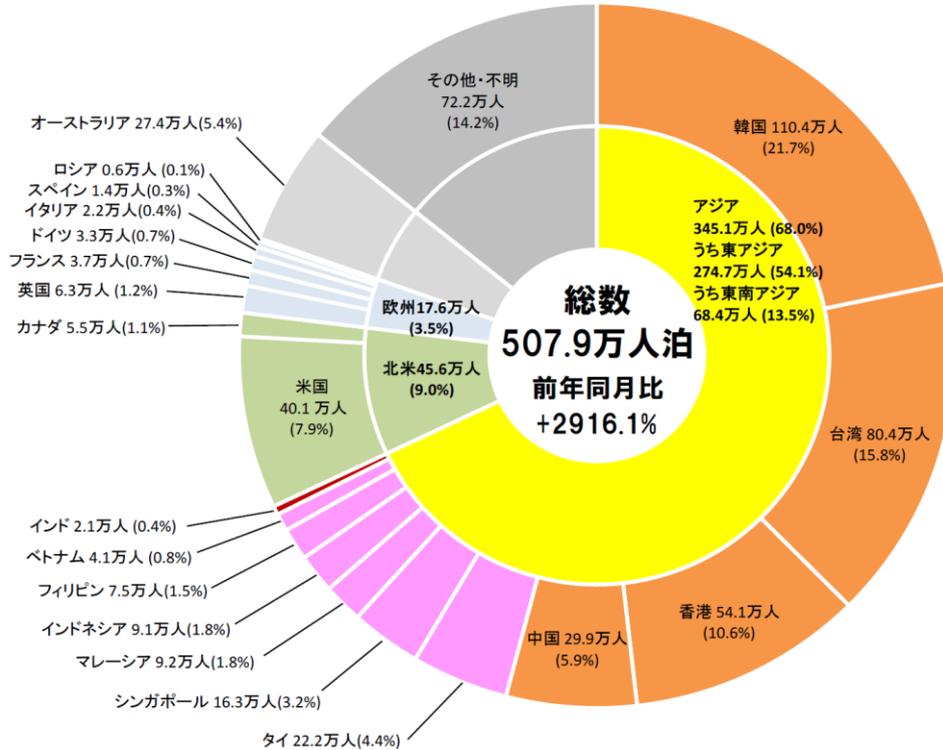


(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.1月）

- 令和5年1月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が韓国、第2位が台湾、第3位が香港、第4位がアメリカ、第5位が中国で、上位5カ国・地域で全体の62.0%を占める。
- 2019年同月比では2割以上減少している国が多い。

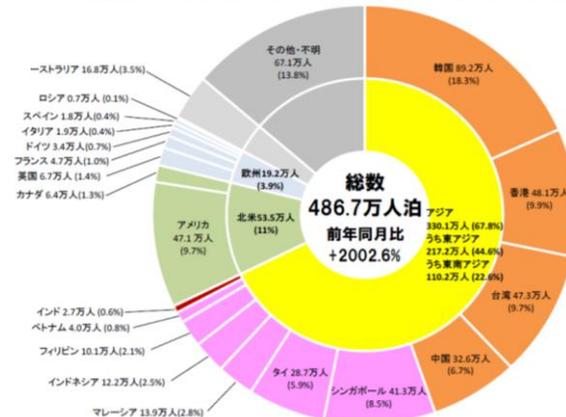
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年1月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		（人泊）	シェア		
第1位	韓国	1,103,590	21.7%	-20.5%	+24644.2%
第2位	台湾	803,510	15.8%	-27.8%	+24776.5%
第3位	香港	540,860	10.6%	+0.9%	+52925.5%
第4位	米国	401,330	7.9%	+2.8%	+1029.6%
第5位	中国	299,270	5.9%	-87.0%	+1425.3%
第6位	オーストラリア	273,500	5.4%	-34.5%	+20938.5%
第7位	タイ	222,490	4.4%	-21.4%	+7572.1%
第8位	シンガポール	162,660	3.2%	+17.7%	+5688.6%
第9位	マレーシア	91,560	1.8%	+9.0%	+6784.2%
第10位	インドネシア	90,680	1.8%	-34.5%	+1332.5%
第11位	フィリピン	74,940	1.5%	+3.0%	+419.3%
第12位	英国	63,030	1.2%	-17.5%	+2831.6%
第13位	カナダ	54,750	1.1%	-2.3%	+5983.3%
第14位	ベトナム	41,260	0.8%	+43.8%	+226.7%
第15位	フランス	37,010	0.7%	-30.1%	+960.5%
第16位	ドイツ	33,460	0.7%	-26.2%	+1434.9%
第17位	イタリア	21,580	0.4%	-26.9%	+3971.7%
第18位	インド	20,640	0.4%	-27.9%	+381.1%
第19位	スペイン	14,360	0.3%	-33.5%	+6143.5%
第20位	ロシア	6,200	0.1%	-77.6%	+501.9%
	その他	413,780	8.1%	-19.7%	+904.6%
	合計	5,078,790	100.0%	-36.7%	+2916.1%

【参考】前月分

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和4年12月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2022.11～2023.1月)



	11月		12月		1月	
	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位
全 国	3,824,330		5,980,580		6,058,130	
01北海道	121,440	5	635,520	3	624,680	3
02青森県	7,580	33	6,960	38	10,490	31
03岩手県	4,690	40	7,910	33	12,660	29
04宮城県	13,030	22	14,960	25	23,570	23
05秋田県	3,130	42	4,740	41	7,380	39
06山形県	3,090	43	10,810	28	23,970	22
07福島県	6,780	37	7,290	35	13,800	28
08茨城県	7,960	32	7,170	36	9,720	33
09栃木県	15,760	21	18,110	21	17,980	26
10群馬県	10,520	25	15,640	24	24,360	21
11埼玉県	10,870	24	15,980	23	9,990	32
12千葉県	99,950	6	154,530	6	175,700	8
13東京都	1,552,710	1	2,436,840	1	2,205,220	1
14神奈川県	96,640	7	109,030	8	130,720	9
15新潟県	11,640	23	25,590	19	67,370	12
16富山県	6,790	36	5,560	40	5,100	40
17石川県	27,600	17	26,750	18	33,100	18
18福井県	2,320	45	1,970	46	2,600	45
19山梨県	53,790	11	75,040	11	66,690	13
20長野県	38,940	13	92,330	9	191,720	7
21岐阜県	40,490	12	53,600	13	58,200	14
22静岡県	33,850	15	38,650	15	36,640	17
23愛知県	75,700	8	87,690	10	95,090	10

	11月		12月		1月	
	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位	延べ宿泊者数	順位
24三重県	7,540	34	8,910	32	8,750	36
25滋賀県	9,150	28	11,830	26	21,120	24
26京都府	476,000	3	589,090	4	444,910	4
27大阪府	596,850	2	839,410	2	846,840	2
28兵庫県	30,470	16	40,470	14	57,330	15
29奈良県	8,040	31	11,490	27	9,310	35
30和歌山県	18,410	20	17,890	22	16,130	27
31鳥取県	2,260	46	2,000	45	2,240	46
32島根県	1,550	47	1,290	47	1,680	47
33岡山県	8,380	30	10,480	29	9,460	34
34広島県	37,450	14	28,550	17	32,420	19
35山口県	7,280	35	7,420	34	5,030	41
36徳島県	4,390	41	4,540	42	3,830	43
37香川県	9,700	27	9,150	31	11,060	30
38愛媛県	8,640	29	6,430	39	5,020	42
39高知県	2,880	44	2,010	44	2,930	44
40福岡県	157,420	4	245,810	5	321,510	5
41佐賀県	6,150	38	7,090	37	8,640	37
42長崎県	18,490	19	21,030	20	31,180	20
43熊本県	24,540	18	37,250	16	41,980	16
44大分県	55,130	10	72,170	12	93,310	11
45宮崎県	5,690	39	4,410	43	8,050	38
46鹿児島県	10,470	26	9,910	30	20,080	25
47沖縄県	72,200	9	139,280	7	208,590	6

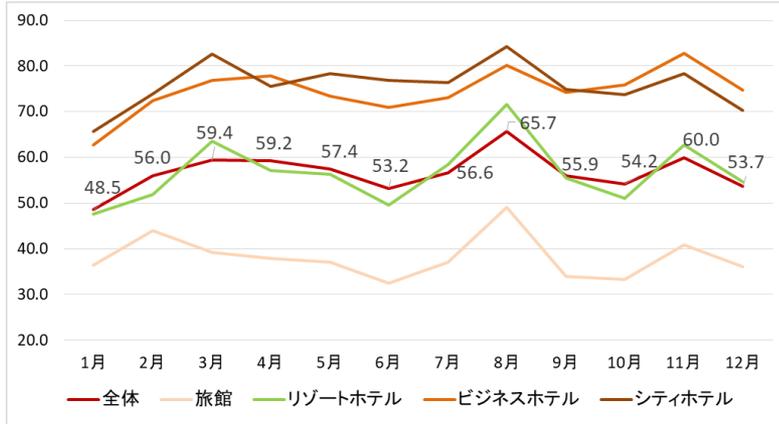
(単位：人泊)

宿泊タイプ別客室稼働率

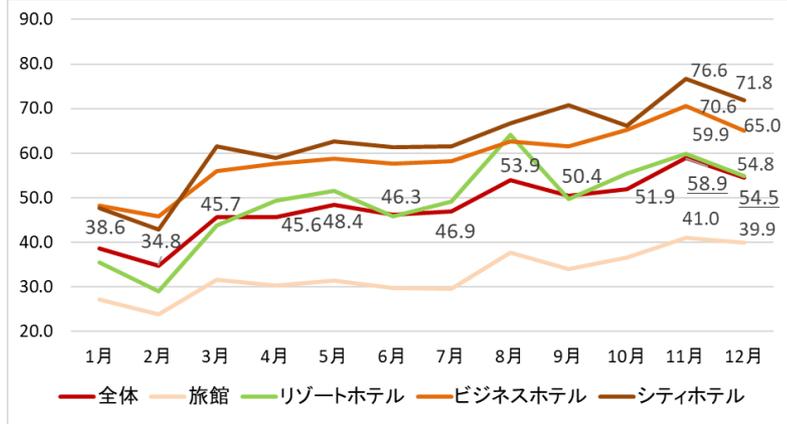
2019年／2022年比較

【兵庫県】

(2019年)

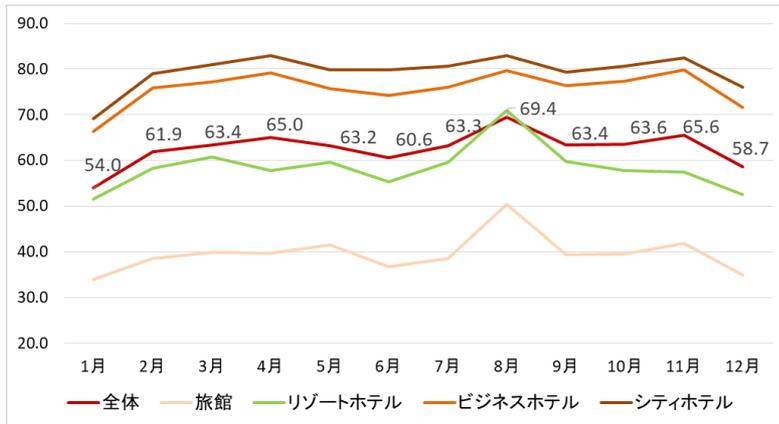


(2022年)

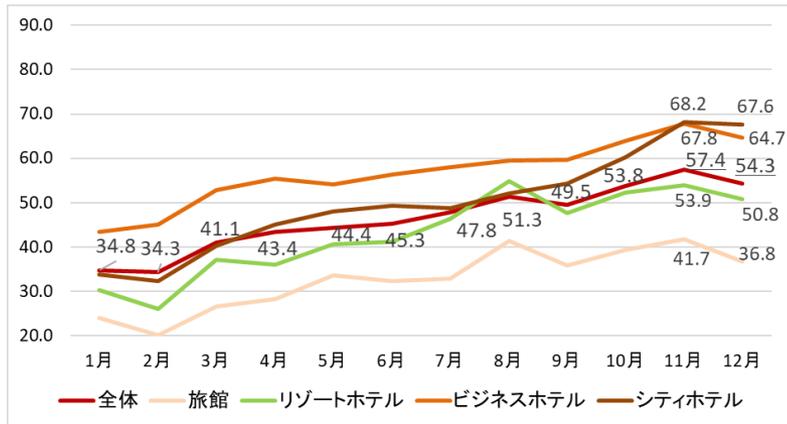


【全国】

(2019年)



(2022年)



世界の運航状況

2019年4月1週目比 2023年4月1週目比

世界	-5.9%	1.0%
西欧	-9.6%	2.6%
東欧	-20%	1.6%
北米	-0.4%	-0.3%
中米	6.1%	-1.7%
南米	4.4%	-2.1%
東アジア	-5.8%	1.2%
東南アジア	-23.7%	2.5%
中東	-4.6%	-0.1%
太平洋(豪州ほか)	-10.9%	0.6%

世界の座席利用率(2023年2月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	79.2% -3.6p	82.5% 1.4p	日本	75.5% 3.7p
欧州	75.2% -6.5p	73.7% -8.7p	中国	75.9% -11.9p
北米	77.1% -3.5p	76.6% -2.1p	インド	81.6% -7.7p
中南米	81.3% -1.0p	82.7% 1.4p	米国	76.9% -4.6p
中東	81.1% -0.4p	80.0% 7.6p	豪州	76.7% 1.2p
合計	77.8% -2.9p	77.7% -1.9p	合計	77.9% -4.7p

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

<世界の航空業界の状況>

世界の2023年2月の運航総数は、コロナ前のレベルに近づいた。特に「プレミアムトラフィック」の回復スピードが速く、ビジネス需要というよりも「より快適に旅行を楽しみたい旅行者」が増えている傾向が推察される。

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年3月～2023年2月) 4月10日時点



関西国際	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月
国際線 発着数(回)	3,189	2,955	3,041	3,448	3,591	3,740	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197
2019年比(%)	-79	-78	+178	-74	-74	-73	-71	-66	-57	-55	-55	-48
総旅客数(人)	482,448	439,084	499,770	524,388	649,909	714,267	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834
2019年比(%)	-83	-84	-82	-80	-76	-75	-73	-65	-55	-47	-47	-42
外国人 旅客数(人)	17,302	19,336	38,335	38,948	51,778	67,522	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776
2019年比(%)	-98	-98	-97	-97	-96	-95	-93	-84	-64	-50	-47	-46
国内線 旅客数(人)	449,421	386,241	440,515	454,729	546,888	568,852	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232
2019年比(%)	-30	-33	-33	-17	-11	-13	-14	+2	-2	+1	-9	+5

神戸	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月
国内線発着 回数(回)	2,663	2,570	2,665	2,666	3,081	3,109	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755
2019年比(%)	+7	+4	+1	+10	+19	+14	±0	+1	±0	±0	+16	+25
国内線 旅客数(人)	172,792	173,628	206,812	215,697	265,021	299,259	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184
2019年比(%)	-40	-32	-25	-18	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+7

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年3月～2023年2月)

4月20日時点



路線	内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月
新千歳	旅客数(人)	26,939	26,174	35,410	42,470	49,670	51,263	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358
	利用率(%)	44.2	52.3	58.1	72.0	81.3	83.9	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7
青森	旅客数(人)	1,448	2,313	2,776	2,418	3,052	6,319	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358
	利用率(%)	43.2	47.0	53.4	48.0	58.8	63.8	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2
花巻	旅客数(人)	1,948	1,827	2,197	2,171	2,431	3,508	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166
	利用率(%)	56.1	37.0	42.3	43.1	46.8	67.4	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0
仙台	旅客数(人)	9,801	10,510	12,672	11,581	13,862	17,200	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349
	利用率(%)	44.7	49.5	57.7	55.4	63.2	78.4	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7
新潟	旅客数(人)	404	1,979	2,444	2,105	1,841	2,274	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583
	利用率(%)	52.1	42.4	49.8	46.4	38.4	46.9	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7
茨城	旅客数(人)	8,798	12,423	15,927	14,320	18,199	22,620	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508
	利用率(%)	46.9	45.6	58.1	55.4	55.3	69.8	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0
羽田	旅客数(人)	57,902	53,807	66,227	63,350	69,993	72,557	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384
	利用率(%)	63.6	67.7	74.3	69.9	69.7	81.8	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4
松本	旅客数(人)	3,572	4,936	5,996	6,313	5,821	5,948	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610
	利用率(%)	49.7	50.0	58.2	64.8	56.4	57.1	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8
高知	旅客数(人)	1,516	1,904	2,351	2,065	2,285	2,535	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409
	利用率(%)	39.4	37.8	45.1	41.0	43.9	48.7	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8
長崎	旅客数(人)	13,673	12,631	14,830	13,666	18,637	23,446	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435
	利用率(%)	49.5	46.9	54.5	52.9	56.9	71.6	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7
鹿児島	旅客数(人)	6,882	5,049	6,103	6,593	10,469	15,389	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804
	利用率(%)	38.1	39.6	41.5	43.3	48.1	70.1	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7
那覇	旅客数(人)	33,599	32,525	31,252	37,519	55,216	61,316	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212
	利用率(%)	48.8	50.1	44.9	55.0	64.2	70.4	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2
下地島	旅客数(人)	3,568	4,311	4,370	7,374	8,444	8,679	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905
	利用率(%)	32.5	40.6	39.8	69.4	76.9	79.1	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8